

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 28 日 (2006.9.28)

【公開番号】特開 2000-226348 (P2000-226348A)

【公開日】平成 12 年 8 月 15 日 (2000.8.15)

【出願番号】特願 平 11-318739

【国際特許分類】

C 0 7 C 27/06 (2006.01)

C 0 7 C 29/152 (2006.01)

C 0 7 C 31/04 (2006.01)

C 0 7 C 41/01 (2006.01)

C 0 7 C 43/04 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 27/06

C 0 7 C 29/152

C 0 7 C 31/04

C 0 7 C 41/01

C 0 7 C 43/04

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 16 日 (2006.8.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 6】

表 1

比較合成における各組成

流れ図位置	補充合成ガス			メタノール合成機能流出物			凝縮液		
例番号	1	2	3	1	2	3	1	2	3
成分 (モル%) :									
H <sub>2</sub>	6.23			50.30	58.18	51.78	0.55	0.47	0.60
C O	24.6			7.08	4.66	5.78	0.15	0.10	0.10
C O <sub>2</sub>	5.15			6.79	7.40	7.66	2.20	4.41	2.90
不活性物質	3.77			18.02	18.78	17.16	0.74	0.61	0.59
M e O H				8.38	2.13	8.04	29.60	28.88	30.15
D M E				8.04	6.03	7.71	24.38	26.87	24.78
H <sub>2</sub> O	0.18			1.39	2.82	1.87	42.38	38.66	40.88

メタノール合成機能流出物は、合成ガスからメタノールを合成する活性を有する触媒を含有する最後の触媒床を該流出物が離れる位置、即ち例 1 では第二の反応器 R 2 の第一の触媒床、例 2 では第三の反応器 R 3 そして例 3 では第一の反応器 R 1 における合成ガスの組成である。この組成は最大の水濃度を証明するために示しており、メタノール合成機能

触媒をそれぞれの合成例において使用する。

表 2

	供給 / 生産 - 指数	循環 / 補充 - 合成ガス比	生成物総モル比 * (DME/MeOH)	触媒容積 指数
例 1	1 0 0 / 1 0 0	2 . 5 8	1 . 0 2	1 0 0
例 <u>2</u>	1 0 0 / 1 0 0	3 . 6 0	1 . 0 2	1 2 1
例 <u>3</u>	1 0 0 / 1 0 0	2 . 6 5	1 . 0 2	1 1 0

\* ) 含まれる生成物はパージガス流から容易にかつ安価に得られる。